

生徒指導

1 全体構想

<p>(生徒の実態)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るく素直で、課題に対して真面目に取り組む生徒が多く、「挨拶・歌声・掃除」の伝統を受け継ぎ、より充実させていこうとする気運がある。 ・様々な活動の中で、全校生徒が共に協力して活動していこうとする温かい雰囲気がある。反面、人間関係で悩みをもっている生徒が一部に見られ、好ましい人間関係づくりに課題がある。

学校教育目標
心豊かで、創造力と実践力のある自立した人間の育成
<p>【友愛】 品位があり、友愛の精神に満ちた生徒</p> <p>【創造】 自ら学び、創造的な知性を身に付けた生徒</p> <p>【剛健】 希望をもち、剛健な心身で生きる生徒</p>
生徒指導目標
生徒一人一人のよさを伸ばし、自己指導能力を身に付けた生徒を育てる。
生徒指導重点目標
生徒の主体的な活動を重視し、成就感や充実感、互いに支え合って生きる喜びを味わわせ、進んで自己実現を図ろうとする生徒を育てる。

<p>(地域の実態)</p> <p>教育に対する関心が高く、学校教育にも大変協力的である。</p>
<p>(目指す生徒の姿勢)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇元気に挨拶や返事ができる。 ◇時間を守って行動ができる。 ◇時と場に応じた適切な言動ができる。 ◇進んで時間いっぱい清掃に取り組むことができる。 ◇互いを認め合い、協力して活動することができる。 ◇高い目標をもち、失敗を恐れず、互いに磨き合うことができる。

本年度の生徒指導方針

- ・ 生徒一人一人のよさや可能性を踏まえたより深い生徒理解に努め、教師と生徒、生徒相互の好ましい人間関係づくりを推進する。
- ・ 生徒が諸活動を通じて自己存在感や自己有用感を高め、共感的な人間関係を育み「絆づくり」の場面を設ける。
- ・ 生命を大切にすることを育み、一人一人の人権を尊重する態度を育てる。
- ・ 毎日の生活の中で、現状に気付き、自ら考え、実践しようとする態度を育む。
- ・ 教職員間の共通理解を基に、全校体制による組織的・計画的な生徒指導を推進する。
- ・ 発達障害や児童虐待、PTSD、性同一性障害等について、研修を進め、適切な初期対応や関係機関との連携を行う。
- ・ 小学校や家庭、地域社会との連携の下、その教育力を生かして、問題行動やネットトラブルの予防等、生徒の健全育成と安全指導に努める。

具体的な場における方針

生活指導・学習指導	生徒理解	教育相談	家庭・地域との連携
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人の実態を踏まえ、「分かった」「できた」という実感がある授業を心がけ、意欲と自信が高まるように指導する。 ・ 時と場に応じた言葉遣いや心のこもった挨拶ができるようにする。 ・ 生徒、教師が共に時間を守り、見通しをもって活動できるようにする。 ・ 具体的な生活目標を設定し、その達成のために必要な指導・援助を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業のみならず、朝の活動、部活動等日常の学校生活全般にわたり生徒との触れ合う場を多くし、信頼関係を深めるように努める。 ・ 共感的理解を意識して生徒に接し、共に歩む姿勢で問題解決にあたる。 ・ 調査・検査の結果や、保護者・地域から得た情報を有効に活用する。 ・ 教職員間の情報交換を密にし、共有した情報を指導に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の個人面談、チャンス相談を行うとともに、年2回の定期教育相談とスクールカウンセラーとの個別面談を実施する。 ・ 生徒が直面する問題を自分自身の力で解決できるようにスクールカウンセラー等と連携し、指導・援助する。 ・ 生活の記録、調査・検査、日常的な観察を基に、生徒がもつ悩みや問題の早期発見、早期援助に当たる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校や公民館、民生委員・児童委員等との密接な連携を基に、生徒指導を推進する。 ・ 学校だより、学校ホームページ、学年だより、保護者懇談会等を通して学校への理解と協力を求める。 ・ 地域の行事や文化活動等に積極的に参加することを通して、地域社会の一員としての自覚を高める。

1 年	2 年	3 年
一人一人が集団の中での自分の役割を果たしていく場や機会を設定することで、集団への所属感を高められるようにする。	一人一人が的確に状況を判断し、自分の言動に責任をもって活動する場や機会を設定することで、充実した学校生活を送ることができるようになる。	集団全体の向上のために主体的に取り組む場を設定することで、自己有用感を高めるとともに、進んで周囲に対する働きかけができるようになる。

各教科	特別の教科 道徳	特別活動	その他の活動	家庭・地域との連携
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人の実態を踏まえた指導及び援助を意識し、学習に主体的に取り組む態度を育てる。 ・ 「分かる・できる」授業、やり遂げた成就感のある学習を推進し、集団の中での自己実現を援助する。 ・ 一人一人のよさを大切に、互いに学び合う態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の主体的・自治的活動を通じて自分の行動に責任をもつという意識を育てる。 ・ 全教育活動を通して、教師と生徒、生徒相互の信頼関係を深め、他を思いやる心や、互いを尊重し合える人間関係の育成に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 達成感や自己有用感が感じられるような活動を設定し、互いのよさを認め合える人間関係を育む。 ・ 人としての生き方を考え、現在及び将来において、自分の適性や能力を生かすことができるようにする。 ・ 肯定的な振り返りを大切にしながら自己評価や相互評価の場を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア活動へ積極的に参加することで、思いやりや奉仕の心をもつ生徒を育てる。 ・ 部活動に積極的に取り組むことで、たくましい体をつくり、困難に立ち向かい、最後までやり抜くことができる強い心を養う。 ・ 様々な活動を通して、異年齢間の交流を深め、望ましい人間関係が築けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣の確立や休日の過ごし方を中心として連携を密にする。 ・ 地域の行事に積極的に参加するよう働きかける。 ・ 学校だより、学年だより、ホームページ等を通して学校の教育方針、活動内容を紹介し、理解と協力を得られるようにする。

<日常的な生徒指導実践の場> 基本的生活習慣の形成と望ましい人間関係の形成

- ・ 登下校 生徒会を中心とした挨拶運動
- ・ 休み時間 友達との良好な関係の構築、時間を意識した行動
- ・ 授業 一人一人への理解と支援、分かる授業、一人一人のよさを大切にしたい学び合い
- ・ 清掃活動 勤労奉仕と師弟同行
- ・ 給食 望ましい食習慣、好ましい人間関係や感謝の気持ち
- ・ 部活動 一人一人の能力の伸長と自己実現への支援、目標に向かって努力すること

- ◎家庭・地域・学校の一体化
- ◎小学校との連携
- ◎温かい人間関係
- ◎温かい学級・絆づくり
- ◎生徒と教職員の信頼関係
- ◎全教職員の共通理解によるチームによる支援